



●平成31年度所信表明 .....2~6ページ

広報おおくわ  
oookuwawa

3  
2019  
No.533

# 平成31年度 所信表明



平成31年度の大桑村一般会計並びに各特別会計予算の審議をお願いするにあたり、その所信の一端を申し上げます。

## 予算の概要

わが国の経済情勢は、雇用・所得環境および企業収益の改善により「景気は、緩やかに回復している」とするものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外

経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある、さらに相次いで発生する自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要がある。としており、不透明で厳しい状況が続き、依然として今後の先行きが見通せないのが現状です。

政府は、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、地球環境と両立した持続的な成長経路の実現に向け一人ひとりの人材の質を高める「人づくり革命」と、成長戦略の核となる「生産性革命」に最優先で取り組むべく、昨年度当初予算比3・8%増の101・5兆円の一般会計予算案を決定しました。地方財政対策としては、地方税の伸びを見込んでうえで、地方交付税を上積みし、臨時財政対策債を抑制することで、質を改善しながら前年度を上回る一般財源総額を確保したと

しています。

村内の状況は、自動車関連企業は引き続き無難な操業を続けていますが、地場産業や建設関連産業の厳しい状況は変わらず、個人消費も伸びているとは言えず、過疎化と相まって依然として低迷が続いています。村の財政状況は、平成29年度の決算では財政の健全化を示す指標である実質公債費比率は9・2%、前年度比0・1%の減となり前年度に比べ改善しています。

平成31年度は、村づくりの基本方向を示す、「第5次大桑村総合計画」の折り返しの年であり、後期基本計画の初年度として、前期基本計画の評価・検証に基づき、村が目指す将来像に向け、引き続き事業展開を図るとともに地方創生大桑村総合戦略および行財政改革の着実な実行を基本方針として、課題の解決を図ります。さらに、あらゆる災害からの安全確保を重視した環境づくりと、ますます深刻化する少子高齢化に対応すべく、健康長寿の延伸と予防を重視した健康づくりや村全体で子育てを応援する体制の充実・強化、若者の定住促進などを見据えた利

便性ある快適な生活基盤づくりを推進し、活力ある村づくりと住民が自信と誇りを持って生活することができる村づくりを重点に、予算の質の向上を図りました。

## 一般会計

一般会計は総額が36億6200万円となり、前年度当初予算対比で3億5100万円の減額、率にして8・7%の減となります。

村税は、固定資産税が引き続き減収となるものの、村民税は村内企業の動向および平成30年度の実績を考慮し、軽自動車税・たばこ税・入湯税と合わせ若干の増収を見込みました。村税総額では前年度に比べ31万5千円の微増で、5億8591万8千円を計上しました。歳入の根幹をなす地方交付税は、平成30年度の歳入実績を考慮し、14億8569万3千円、前年度比6・1%の減、臨時財政対策債7600万円と合わせた総額は15億6169万3千円で、1億1618万円の減額となりました。国庫補助金は、土木費で道路防災事業の継続により、前年度と比べほぼ同額の3億8461万2千円を計上。村

債は、過疎対策事業債、公共施設等適正管理推進事業債、防災対策事業債および臨時財政対策債で、木曾広域連合ケーブルテレビ光化事業費負担の終了により、前年度比35・7%減の5億3080万円を計上しました。

## 若者の定住促進と子育て支援の充実

少子高齢化による人口減少が急速に進む中、安心して子育てができる環境の充実を目指します。妊娠から出産、産後までの妊婦健康診査に助成し出産の負担軽減を図るとともに、乳児健康診査についても助成を継続します。望みなから子どもが授からない人たちには不妊・不育治療費を村単独で補助します。また、妊娠から出産後1年までの妊産婦にかかる医療費について、無料化を継続し負担の軽減を図ります。また、新たな取組みとして出産後に家族などの支援が受けられない場合に、病院で産後のサポートが受けられる産後ケア事業を実施します。

すこやか子育て応援祝金は、出産時と小・中学校の入学時に支給し、子育て世代の定住促進を図ります。子育てに対するニーズが益々多様化する中、子育て支援センターの利用者は増加傾向にあり、同センターを核として子育て講座や、子育てに関する保護者の相談窓口を常時開設するなど、気軽に立ち寄れる場所として利用の充実、保護者や同居の親族が病気などで育児が一時的に困難になった場合の、子育て支援ショートステイ事業など、子育て支援体制の強化を図ります。また、安心して子どもを預けられる保育施設の充実を図り、保育料の第3子無料化、第2子の半額免除を継続し、10月からは3歳児以上が無料化となります。給食費の無料化と併せ、ひとり親世帯への措置など、保護者のさらなる負担軽減を図ります。ここ数年の地球温暖化による、夏の猛暑対策のため、各園児室と遊戯室にエアコンを設置し、環境改善を図ります。園児数は減少傾向ですが、未満児保育を充実するなど、保育園長ほか保育士7名体制で運営します。

乳幼児期から本に親しみ、中学生には今後の人生を歩むうえで礎となる本を贈るブックスタート、

セカンドブック、サードブックのそれぞれの事業を継続します。

また、木育を推進するウッドスタート事業では、新たに誕生した子どもに贈る地元産の木のおもちゃの種類をさらに増やし、選択の幅を広げます。

Iターン・Uターンなど若者の村内定着を図るため、村有地の調査および宅地造成可能地の情報収集を進めるとともに、老朽化した野尻旭町地籍の村営住宅を取壊し、宅地造成を計画するとともに、新たな村営住宅の建設を検討します。住宅の新築・増改築および空き家対策に伴う補助を継続し、地方創生の取組みと合わせ移住・定住化を促進します。



▲ウッドスタート事業

## 健康増進と教育の充実

村の高齢化率は42%を超え、医療費は依然として高水準で推移し、生活習慣病保有率も高い数値を示しています。食生活の改善やゴールデンシュー運動、健康講座、大学と連携した健康づくり実践事業を継続するなど、予防活動を推進するとともに、健康な体を兼ね備えた長寿を目指し、病気の早期発見・早期治療を目標に基本健康診査、人間ドック、各種がん検診を充実するとともに、新たに女性特有のがん検診を無料化し、受診率の向上を目指します。また、麻しん・風しん、日本脳炎、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンなどの定期予防接種の実施や毎年流行するインフルエンザ予防のため、乳幼児から高校生までのワクチン接種の全額助成および高齢者のインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、おたふくかぜワクチンへの助成を継続します。一般成人の風しん予防接種については、最近の流行を受け、新たに抗体保有率が低い年代の男性を対象に、検査および予防接種を全額助成します。

小・中学校では、少人数の学年が続くとともに、様々な事情を持った支援の必要な児童生徒が入学してきます。引き続きほっとサポートや特別支援教育支援員を配置し対応します。人数の減少により、1学年2学級体制は無くなりませんが、村費職員を小学校へ1名、中学校へ2名配置します。学校給食の主食分については全額補助を継続します。施設面では、小学校の校内放送設備の更新経費を計上します。また、「放課後子ども教室」は長期の休みを含め通年で継続し、放課後の子どもたちの安全な場所を確保します。

文化財関係では、「池口寺薬師堂」の避雷針設置に伴う補助金を計上しました。歴史民俗資料館では、展示室のスポットライトを更新し、展示物の保護を図ります。

生涯学習では、村民の皆さんが地域に愛着を持ち、自分らしくいきいき過ごせる村を目指し、社会教育・生涯学習講座関係の経費を計上しました。公民館関係では、分館運営および営繕交付金を計上し、地域の個性を活かした活動の推進と、世代間交流の促進を図ります。

体育施設関係では、近年家族連れの利用が増加傾向にあるスポーツ公園の「わんぱく広場」で、老朽化により使用禁止となっている大型遊具の更新と併せ駐車場を整備し、利便性の向上を目指すとともに公園管理の充実を図ります。



▲らくらく筋トレ教室

## 安全・安心な村づくりの推進

高齢化がさらに進む中、認知症の発症件数が増加しています。村が掲げる「認知症の人にやさしい村づくり宣言」に基づき、予防講演会を開催するとともに、認知症

の初期段階からの相談体制の充実を図り、見守りネットワーク体制を充実するなど、誰もが住みやすい地域づくりを目指します。また、高齢による運転免許証の返納者には、村の公共交通回数券を配付し、自主返納者を引き続き支援します。デイサービスセンターでは、旧館の床暖房設備の改修など施設の修繕経費を計上し利用者の利便性の向上を図るとともに、社会福祉協議会、村内のNPO団体、ボランティア団体と連携し、介護予防教室、健康教室、ふれあいいきいきサロンやコミュニティカフェ、配食サービス、住民が主体となった支え合い活動など、生活支援サービスの充実を図ります。老朽化に伴い木曾広域連合が運営する木曾寮の移転計画については、建設基金を積み増し2024年度の新施設稼働を目標に高齢者福祉を一層推進します。

地域活動支援センターくわっこ工房では、障がいを持つ皆さんの社会参加の促進と相談・支援体制の充実を図るとともに、猛暑対策のためエアコンを増設し、環境を改善します。須原地区で建設中のグループホームについては、5月

の開所を予定しており、木曾社会福祉事業協会と連携し、地域と一体となった運営を進めます。身体の不自由な人や寝たきりとなった人を対象に、福祉有償移送サービスの利用補助を行い、通院・通所など移動に対する支援を図り、自交通手段のない高齢者や障がい者には、福祉タクシー券の発行など、通院・通所、買い物など利用者の移動手段を確保します。

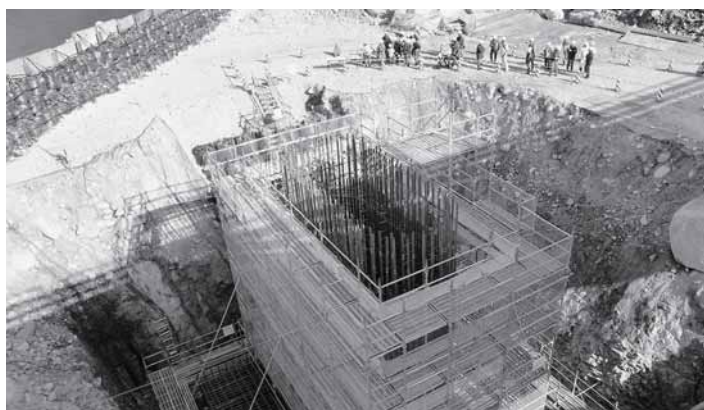
ここ数年來の世界的な異常気象は、依然として衰えを見せず猛威を振るい続けており、昨年は当村においても災害が発生しました。相次ぐ自然災害の防災・減災対策が重要視されるなど、防災に對しての関心がより深まり、有事に備えるべく国・県との連携をさらに強化します。国の直轄砂防事業は、越百川第3砂防堰堤、下洞沢砂防堰堤および下在砂防堰堤工群（深沢、宮の沢、蛇抜沢、中河原沢）を継続するとともに、過去の災害による猿沢砂防堰堤、矢垂沢砂防堰堤の緊急対策工事に着手し、伊奈川第1、太田第1砂防事業の調査を実施します。県の事業としては、大沢砂防堰堤および門前地区の急傾斜地崩壊対策事業

を進め、村では国が施工する蛇抜沢砂防堰堤下流の護岸整備を継続し、村道大平線の補修工事を実施します。橋梁長寿命化修繕計画に基づき小川第2号橋、本谷第1号橋の橋梁修繕工事と、伊奈川橋ほか4橋の詳細設計を実施します。道路ストック点検事業では4隧道の法定点検とトンネル長寿命化修繕計画の見直しを実施します。村道長野殿線の大桑橋架け替えは、平成30年度の繰越分と併せ、継続費による上部工製作架設工事を進めます。村道大野線では崩落による路肩改修を実施し、村道長野中2号線改良事業では幅員を拡幅します。木曾川右岸道路整備事業は、上松町登玉から和村間の道路改良を継続して実施しトンネル工事を進めます。殿と弓矢地区の木曾川右岸道路から国道19号までのアクセス道路整備を進め、読書ダムから南木曾町戸場までのトンネルと橋梁の詳細設計を実施します。

生活環境の整備では、村内のペットボトルなどリサイクル事業の更なる推進と、ごみの減量化を進めるため、資源回収事業奨励金を継続します。自然エネルギーの

活用では、太陽光発電設置補助金の継続。合併処理浄化槽の保守点検への助成金および設置整備に対する補助金を計上しました。

村内の公共交通は、村内循環線、木曾病院線および坂下病院線の運行を継続し、予約制乗り合いタクシーは平日に加え土曜日の利用についても検討します。村内の移動など利用者の利便性を向上させるため、村民の皆さんの意見を聞きながら交通網の充実について検討します。



▲大桑橋P1橋脚（弓矢側）

## 産業振興の充実と地域産業の活性化

遊休農地、耕作放棄地など農地の総合管理を図るため、中山間地域の特色ある生産活動を振興し、農産物販売組合等の地産地消活動を支援します。ソバ作り体験を通じて下流域との交流推進を継続するほか、上在農道新設事業を実施します。

森林造成事業は国・県の制度を十分活用して進めるとともに、村単独で里山を整備する里山整備事業交付金は、景観整備事業と併せて村道橋場伊奈川線沿線の森林整備を継続します。昨年豪雨により流失した林道松淵沢沢線の橋梁下部工保全整備事業に着手し、早期の復旧を目指します。年々増大する有害鳥獣被害に対応するため、有害鳥獣被害防止対策協議会との連携による対策を継続。狩猟免許取得者への補助など鳥獣被害対策を強化します。猟友会の協力を得て行う有害鳥獣パトロールは、引き続き狩猟期間を除き年間を通じて毎日実施し、その捕獲・駆除に努めます。松くい虫被害が深刻な問題となっており、被害の

北上を防ぐため、松くい虫の防除30立方メートルと併せて、ナラの木のカシナガキクイムシの防除20立方メートルの防除対策費用を計上しました。

村内における購買活動の活性化を図るため、商工会へプレミアム商品券の助成を今年度も継続します。

阿寺溪谷の自然環境を保全し、後世に残すことを基本に、昨年実施した夏季の車両交通規制は、入込み客の状況と交通渋滞やマナーなど、実施状況の評価・検証に基づき、最盛期の混雑に対応するため、交通整理員の配置やシャトルバスの対応を検討し実施することとします。

フォレスパ木曾は、設備などについて老朽化していますが、今年度はあてら荘大広間のエアコン更新と、温泉の源泉湯湯能力調査に経費を計上しました。利用状況は宿泊・宴会者、温泉入浴者ともに横這いから微増傾向にあり、村民の皆さんの更なる利用をお願いするものです。フォレスパ木曾の指定管理委託料については1800万円を計上しました。

## 活力ある村づくりの推進

第5次大桑村総合計画後期基本計画の初年度にあたり、前期基本計画の評価・検証を踏まえ村が目指す将来像の実現に向けた村づくりのための施策を更に進めます。

新庁舎の建設については、2020年度に工事着手するための実施設計を進め、建設資材に村有林材を利用するため中尾沢村有林からの伐採搬出後、用材の製材・乾燥を行います。建設予定地の旧大桑小学校の建物は、秋以降の解体を予定し更地とします。国道からのアクセス道路として、村道大島線改良工事を継続し、接続する村道大島中央線改良事業を実施します。

村内外の皆さんへの行政サービスの向上を図るため、各種証明書のコンビニ交付システムを運用するとともに、新たに窓口申請書作成支援システムを導入し、利便性の向上を図ります。

地域景観整備では、木曾郡内の町村が取り組む「木曾広域自立圏形成連携協約」に基づき、景観に支障となる河川・国道沿線の雑木の除去について継続するとともに、

に、三色桃による景観整備も継続します。

住民が参画する、地域の景観整備事業など、活力ある村づくりに向けた自主的な活動についても支援します。積極的な取り組みをお願いします。

姉妹都市シエルビービル市との国際交流事業では、今年度は大桑村からシエルビービル市へ、高校生4名の渡航を予定しています。アメリカでの交流をとおして見聞を広め、今後の学生生活や村の活性化に役立つと思います。また、北名古屋市をはじめとする木曾川上下流、都市と農山村との交流など様々な交流の形態について検討を重ね、さらなる交流を目指します。



▲シエルビービル市訪問

## 特別会計

特別会計は、総額8億4104万3千円で、前年度比2・8%の減となりました。

水道事業会計は、統合簡易水道事業の継続および中尾平線、大桑橋、荒屋沢の配水管布設替工事に係る費用を計上しました。

農業集落排水事業会計および公共下水道事業会計は、通常の施設維持管理経費と村道改良に伴う下水道管の移設経費を計上しました。

国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計は通常の給付関係経費を計上しました。

以上が平成31年度（2019年度）予算の概要です。

今後しばらくの間、政治・経済とも厳しい状況が続くと予想されますが、村民の皆さんと共に考え、将来にわたって安心して、いきいき暮らせる村づくりのため、全力で着実な行政運営に努めてまいります。

村民各位のご理解とご支援、ご協力をお願いし、所信表明いたします。

## 統一地方選挙の日程

○長野県議会議員一般選挙

告示 3月29日(金)  
投票日 4月7日(日)

期日前投票

3月30日(土)～4月6日(土)  
午前8時30分～午後8時  
大桑村中央公民館

○大桑村議会議員一般選挙

告示 4月16日(火)  
投票日 4月21日(日)

期日前投票

4月17日(水)～4月20日(土)  
午前8時30分～午後8時  
大桑村中央公民館

立候補予定者説明会

4月2日(火) 午後3時～  
立候補書類事前審査

4月11日(木) 午後1時～  
※説明会・事前審査の場所はいずれも大桑村中央公民館

▼問い合わせ先

大桑村選挙管理委員会  
TEL\*\*55・3080

# 春の狂犬病予防注射と登録

◇ 4月24日(水)

時間	場所
9:30 ~ 9:40	伊奈川分館
9:50 ~ 10:00	下条バス停
10:10 ~ 10:20	上郷リサイクルステーション
10:30 ~ 10:40	和村(高田宅下)
10:50 ~ 11:00	須原地区館
11:10 ~ 11:20	橋場分館
11:25 ~ 11:35	大島分館
11:45 ~ 11:55	殿分館
13:00 ~ 13:20	役場
13:30 ~ 13:40	野尻向分館
13:45 ~ 13:55	サンシャインあてら下駐車場
14:05 ~ 14:15	下在郷分館
14:25 ~ 14:40	野尻駅

飼い犬は毎年1回狂犬病予防注射を義務付けられています。春の予防注射と登録を実施しますので最寄りの場所で受けてください。

登録済みの犬については予防注射の1週間前までにハガキで案内します。当日は必ずハガキを持参してください。

- 【料金】 ● 予防注射と登録 6,500円 ①+②+③  
 ● 予防注射のみ 3,500円 ①+②  
 《内訳》 ① 予防注射料金 2,950円  
 ② 注射済票交付手数料 550円  
 ③ 新規犬登録手数料 3,000円

※訪問注射を希望する人は、上記料金に1世帯あたり2,000円が加算されます。

★訪問注射：5月22日(水)15:30~

- ・訪問注射を希望する人は5月14日(火)までに連絡してください。
- ・当日は犬を扱える人が必ず在宅してください。

※飼い犬が死亡したり、飼い主の転出などにより飼い犬が転居するときは、必ず異動の届出を行ってください。



◇ 5月22日(水)

時間	場所
13:30 ~ 13:40	須原地区館
13:50 ~ 14:05	役場
14:15 ~ 14:30	野尻駅

▼問い合わせ先  
 住民課防災環境係  
 TEL \*\* 55-3080



▲ポンプに流入した異物

## 下水道の正しい使い方

### 下水道使用時の注意点

家庭や企業から出るし尿と生活雑排水は下水道管を通り処理場へと送られます。先日、中継ポンプの中に手ぬぐいやゴミなどの異物が流れ込みポンプが異常停止する事故が発生しました。

○台所では調理くずや食用廃油は流さない  
 野菜くずや残飯、てんぷら油などの廃油は管の詰まりや悪臭の原因になります。

○水洗トイレにはトイレットペーパー以外流さない  
 水に溶けない紙や紙オムツなどの異物を流すと管を詰まらせる原因となります。

○洗剤は適量を守る  
 微生物で汚水を処理している処理場の機能に支障をきたします。使いすぎに注意しましょう。

○宅内の排水設備の定期点検を  
 台所や浴室に設けられている汚水枘や排水管を定期的に点検して清掃しましょう。

▼問い合わせ先  
 建設水道課上下水道係  
 TEL \*\* 55-3080

# 認知症啓発セミナー

2月3日、野尻地区館でNPO法人東濃成年後見センター理事の渡辺哲雄さんを講師に認知症啓発セミナーが開催されました。

講演は「認知症になった波平さん」と題し、一人暮らしになり、判断能力を失った波平さんを支援するために、成年後見制度などの仕組みを分かりやすく解説したもので、先生の軽妙な語り口に会場は笑い声に包まれていました。



▲講演会の様子

成年後見制度は、判断能力が十分な人（本人）を保護・支援し、その人の利益を守る制度のため、家族にとつての利益と相反するところがあり、成年後見人を立てる場合には注意が必要だと説明がありました。

セミナーが始まる前には、「認知症安心サポートネットワーク協力事業所」に配布するステッカーデザインの公募結果が発表され、大野姫菜さん（大野）のデザインが採用されました。



▲大野さんとデザイン

# 野尻街部を「ゾーン30」に

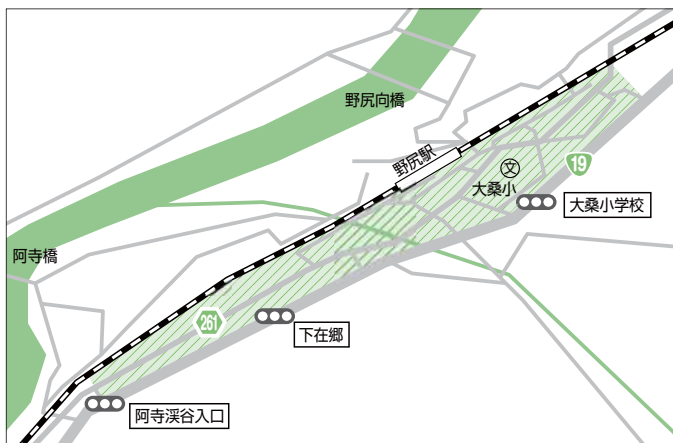
小学校や駅、阿寺溪谷など公共施設や観光地が集中する野尻街部を「ゾーン30」に指定しました。

これは、生活道路における歩行者などの安全な通行を確保するための交通安全対策です。区域（ゾーン）を定め、時速30キロの速度規制を実施することで区域内の走行速度を抑制します。

## 指定区域

指定区域は、図に示された国道とJR野尻駅に挟まれた場所です。※国道を除く区域内の道路が30キロに速度規制されます。

指定区域の入口や区域内に規制を知らせるための標識が設置されます。



車と歩行者が衝突した場合、車の速度が時速30キロを超えると歩行者の致死率が急激に上昇します。運転者は制限速度と交通规则を守り、事故を起こさないように心掛けましょう。

## ▼問い合わせ先

住民課防災環境係

TEL \*\*55・3080





## 信州ACE (エース) プロジェクト

長野県では、健康づくり県民運動として、ACEプロジェクトを実施しています。

ACEは、生活習慣改善の重点項目、体を動かす=Action、健診を受ける=Check、健康に食べる=Eatの3つの頭文字を表し、世界で一番(ACE)を目指す想いを込めた活動です。

今回はEat=健康に食べるについてお話しします。

### 健康に食べる

主に2つの目標が挙げられています。

1つ目は「減らそう塩分〜1食

の塩分は3g〜」、2つ目は「増やそう野菜〜野菜はもう1皿〜」です。  
食事は1日3食。1年間で1000食以上、生涯では8万食以上と毎日続ける健康づくりの中でも大きなポイントです。この毎日の食事で気を付けたいポイントを再確認し、身近な健康づくりから始めましょう。

### 減らそう塩分

日常生活で摂ってもよいとされる塩分は男性8g女性7gです。減塩と聞くと、味が薄くおいしくない印象を持つ人もいるかもしれませんが。実際、塩分を減らした料理では物足りなく感じる場合もあります。そういった場合は塩分を引いて、酸味や香辛料を足しましょう。お酢やしそ、生姜、ごまなどは風味の力で減塩の大きな手助けになってくれます。塩分が多い食品としてインスタント麺や漬物も要注意です。インスタント麺には約6gの塩分が含まれていますが、手軽に作ることができる反面多くの塩分が含まれていることを覚えておきましょう。食べる際には、スープは全部飲まない、入れ

るスープの素を少し減らして作ることで塩分を大きく抑えられます。漬物も全体的に塩分が高い食品です。例えば、梅干しには多いもので1粒に約2gの塩分が含まれています。毎食欠かさず食べている人は1日1粒に減らすだけで大きな減塩になります。

### 増やそう野菜

1日にどれだけの野菜を摂れば良いか知っていますか？

緑黄色野菜、淡色野菜合わせて350gと言われ、心筋梗塞の予防に重要な「食物繊維」や高血圧に摂取できる量とされています。では350gはどのくらいの量でしょうか。

野菜の目安量	重量
生野菜・両手1杯	約120g
加熱野菜・片手1杯	約120g
袋入り野菜・1パック	約100g
野菜小鉢・2皿	約140g

312g、女性297gです。しかし、若い世代の摂取量はこれを下回る結果が出ています。

### 今日から

### 野菜をひとさらダ

長野県の平均的な野菜摂取量は約300gです。目標の350g以上まであと少しです。そこで、今よりも「野菜をもう1皿」足してみましょう。不足している50gはちょうど小鉢1皿分です。3食の内、1食だけでも食卓に「野菜をもう1皿」増やしましょう。

生野菜は量が多く食べられないという人は加熱調理がおすすめです。加熱することで量はかなり減ります。

今回のおすすめ料理は「汁物」です。減塩と併せて、たくさんの野菜を入れて具だくさんの汁物にしましょう。具材が増えれば、飲む汁の量が減り減塩にも野菜を増やす意味でも効果が期待できます。新しいことを始めることは大変ですが、毎日続けている「食事」の中に一工夫を加えて、まめな健康づくりを行っていきましょう。

## 大型連休中の 外来診療

問 長野県立木曽病院

TEL 22・2703

新天皇即位に伴い、4月27日(土)～5月6日(月)までの10日間が連休となります。本来であれば緊急外来のみの対応になりますが、休診期間が長期にわたることにより診療上の支障が予想されることから、次のように外来診療を行います。

### 外来診療日

4月30日(火)

5月2日(木)

※通常の外来診療日と同様の診察体制を予定しています。

※都合により一部診療科で休診になることがありますので、ご承知おきください。



## 交通災害共済

問 住民課防災環境係

TEL \*55・3080

村では交通事故に遭った人を救済することを目的に、全村民を交通災害共済への加入と掛金を負担しています。

交通事故に遭った場合に共済見舞金を請求することが出来ますが、交通事故の日から2年以内に請求手続きをする必要があります。事故に遭った場合は出来るだけ早く住民課防災環境係へ事故の報告をして共済見舞金請求の相談をしてください。

## 消費税軽減税率対策補助金

問 軽減税率対策補助金事務局

TEL 0120・398・1111

今年の10月1日に予定している消費税引上げには、軽減税率制度を実施し、税

率8%と10%の双方の商品を取り扱う事業者は様々な対応が必要になります。こうした事業者を支援するため、国は軽減税率に対応するためのレジや受発注システム、請求書の発行を行うための補助金を用意しています。早めの対応をお願いいたします。

詳しくは、軽減税率対策補助金事務局ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

## 信州大学 市民開放授業

問・申

信州大学学務部学務課

TEL 0263・37・2870

TEL 390・8621

松本市旭3・1・1

信州大学では、大学の授業を市民の方々に開放しています。

### 開講期間

前期 4月～7月

通年 4月～翌年1月

### 開講場所

信州大学各キャンパス

### 受講料

9400円(1科目)

※一部異なる授業もあります。

### 申込方法

授業を試聴し、4月26日(金)までに各キャンパスの受講窓口へ申し込んでください。

### 開放科目・募集定員

募集案内をご覧ください。

### 募集案内の入手方法

①郵送での請求

請求者の郵便番号、住所、氏名を記載し、250円切手を貼付した返信用封筒(角形2号封筒)を同封し、「市民開放授業募集案内請求」と朱書の上、請求してください。

②窓口での受け取り

③ホームページからダウンロード

## 光化工事について

問 木曽広域情報センター

TEL \*21・2212

総務課企画係

TEL \*55・3080

現在木曽広域連合では全線光化工事を行っており、村では昨年12月から順次各家庭の宅内工事を実施しています。

木曽広域連合が進めている光化工事は工事請負業者NECネットエスアイ(株)が実施し、宅内工事を行う際の日程連絡はNECネットエスアイ(株)引宅センター(Tel \*24・0733)から連絡が来ます。

この業者以外からの光化工事の案内については木曽広域連合が進める光化工事とは関係ありません。

ご不明な点がありましたらお問い合わせ先までご連絡ください。



# 4月の行事予定

1月
2火 健康教室10:00~(野尻地区館)
3水 保育園入園式
4木 小学校入学式 中学校入学式 らくらく筋トレ教室10:00~(野尻地区館)
5金 佐渡はよいとこ1度はおいで展(歴史民俗資料館) ※12日まで
6土
7日 長野県議会議員一般選挙
8月 駐在員会19:00~(中央公民館)
9火 健康教室10:00~(野尻地区館)
10水 ゴールデンシューズの日10:00~(伊奈川分館)
11木 らくらく筋トレ教室10:00~(野尻地区館)
12金
13土
14日 消防団春季総合演習
15月
16火 健康教室10:00~(野尻地区館)
17水
18木 池田昌広写真展(歴史民俗資料館) ※29日まで らくらく筋トレ教室10:00~(野尻地区館)
19金 なんでも相談13:00~16:00(須原地区館)
20土
21日 大桑村議会議員一般選挙
22月
23火 健康教室10:00~(野尻地区館)
24水
25木 らくらく筋トレ教室10:00~(野尻地区館)
26金 乳がんマンモグラフィ検診(保健センター)
27土 のぞきど森林公園春期開園
28日 夜桜まつり(スポーツ公園)
29月 子ども釣り専用河川川開き
30火

マスコット：マナビデザイン：石ノ森章太郎



生涯学習に関する問い合わせ 大桑村公民館 TEL \*\* 55-1020

教室	会場	時間	開催日
英会話	①	14:00	3、10、17、24
英会話	②	19:30	3、10、17、24
手話	①	19:00	4
日本語	⑩	10:00	13、27
押し花	②	10:00	17
パッチワーク	①	9:30	10、24
レザークラフト	①	9:00	2、16
陶芸	④	10:00	26、27
コール・マルベリー	②	19:30	4、11、18、25
ヒノキ三味線	①	19:00	2、9、16、23
詩吟大桑	⑥	13:00	2、9、16、23
大正琴糸瀬会	③	13:00	9、23
リフレッシュヨーガ	①	19:00	3、10、17、24
ヨガ	②	14:00	13、27
あゆみ整体	①	19:00	8、22
フラダンス	②	13:30	1、8、15
大桑ダンシングフレンズ	⑧	14:00	6、20
日本舞踊	⑧	14:00	13、27
はなやぎ会	③	13:00	9、23
池坊仙堂会	③	13:00	9、23
笑いヨガ	②	13:30	26

会場 ①中央公民館、②野尻地区館、③須原地区館、④殿分館、  
⑤下在郷分館、⑥東分館、⑦野尻向分館、⑧村民体育館、  
⑨橋場分館、⑩その他

※各教室とも随時参加者を募集しています

## 2月のできごと

2/28 明日を語る集い



2/8 小学校5年生五平餅作り



### 村の人口

1,553世帯 (前月比-1世帯)	男(人)	女(人)	計(人)
出生	0	2	2
死亡	1	1	2
転入	6	1	7
転出	7	11	18
総人口 (前月比)	1,794 (-2)	1,926 (-9)	3,720 (-11)

(3月1日現在・住民基本台帳登録人数)

### 4月の緊急当番医

日	緊急医名	電話番号
7日(日)	池口医院(大桑村)	55-2002
14日(日)	田沢医院(木曾町開田)	44-2008
21日(日)	古根医院(大桑村)	55-1188
28日(日)	奥原医院(木祖村)	36-2264
29日(月)	大脇医院(上松町)	52-2023
30日(火)	王滝診療所(王滝村)	48-2731

木曾病院(木曾町福島) TEL 0264-22-2703  
 坂下病院(中津川市坂下) TEL 0573-75-3118  
 中津川市民病院(中津川市) TEL 0573-66-1251

### 表紙によせて

2月24日、大桑橋の架け替え工事現場で見学会が行われました。  
 工事用の仮栈橋を渡り、左岸(弓矢)側で建設中の橋脚や橋台を見学しました。希望者は工事に組まれた足場から橋脚内部に埋め込まれる鉄筋の太さや構造物の大きさを間近で体感することが出来ました。  
 現在大桑橋は現場での工事と並行して橋桁の製作を進め、2020年の架設を経て2021年の3月の完成を目指しています。